

■ **オープニングセレモニー**：11/1(金)9:15～12:00 ※関係者・報道機関の皆様が対象です
主催・協力機関による開所式と報道機関の皆様向けに施設内容を公開する内覧会を実施します。

【**オープニングセレモニー**：9:15～9:30（2階講義室）】
主催・協力機関代表による挨拶、テープカットを実施します。

【**内覧会**：9:30～12:00】

①**低遅延比較デモンストレーション**

IOWN APNが低遅延・高速・大容量であることを動画によるデモンストレーションでご覧いただけます。

②**低遅延遠隔コミュニケーションデモンストレーション**

【協力機関：一般社団法人YOSAKOIソーラン祭り組織委員会】

北海道大学とNTT東日本の大通4丁目ビル間に設置する大型モニターを通じて、遠隔地にいる人同士で遅延があるとなりたない「じゃんけん」や「あっちむいてほい」が違和感なく実施できることを体験いただきます。また、「YOSAKOIソーラン」の遠隔演舞練習を上演し、離れた場所でも完全同期した演舞ができることを検証デモンストレーションします。

③**VR遠隔教育・コミュニケーション(医療・観光・技術継承)**

【協力機関：キシブル株式会社】

VR教育コミュニケーションツール「iVRES」は、VRカメラで現場を撮影するだけで、面倒な編集作業が不要な、サーバーレスで低コストに導入・運用できる全く新しいVR教育ツールです。

従来、iVRESは医療現場の教育や建設業における技術継承、観光イベントなど、多岐にわたる分野で活用されてきましたが、ローカル環境での運用に限られていました。本実証では、2拠点間を結び、遠隔地からの教育支援や観光案内を実現。サーバーレス環境では実現が難しかった、低コストでの遠隔教育・コミュニケーションを体験できます。

■ **一般公開**

一般の方向けにデモンストレーションを体験いただけます。

公開デモンストレーション以外は、関係者のみを対象としており、非公開となります。

【**IOWN公開デモンストレーション(未来技術体感編)**：11/1(金) 13:00～15:00】

オープニングセレモニーで公開する①～③のデモンストレーションを行います。

【**IOWN公開デモンストレーション(遠距離伝送・ビジネスユース編)**：12/5(木)※予定】

①**触覚伝送 over APN「OPEN HUB Window」**

【協力機関：NTTコミュニケーションズ株式会社】

低遅延・高精細の空間接続デバイス「OPEN HUB Window」をIOWN APNで接続し、北海道の北大と東京の大手町をリアルタイムにつなぎます。

Windowでの映像・音声のコミュニケーションに加え、振動を伝える触覚伝送デバイスも活用することで、離れていても同じ場所にいるかのようなワクワクするコミュニケーションを実現させます。

②**NEC×APN 遠隔からのリアルタイム顔認証**

【協力機関：NEC】

NECの顔認証技術を活用し、遠隔からの顔認証を実証します。映像内に登場する多数の顔データを同時にリアルタイムで行う場合、高速処理が求められるため、通常は解析用の認証サーバを撮影場所付近に設置します。

本実証では、解析用の認証サーバが設置されていない北海道大学で撮影した映像データを、APN経由で遠隔のNEC CONNECT Lab(我孫子事業場)に伝送し、顔認証を行った結果をAPN経由でモニタにリアルタイムに反映させます。

③**IOWNの低遅延・大容量を活かした産業用ロボットの遠隔研修**

【協力機関：三菱電機株式会社】

ロボット制御用パソコンを設置した拠点(北海道)とロボットアーム等を設置した拠点(東京)をIOWNで接続し、IOWNの低遅延・大容量を活かし、複数のFullHD映像とロボット制御信号を低遅延伝送することで、オフライン環境と変わらない感覚で産業用ロボットを操作します。

【IOWN公開デモンストレーション（道内企業と考えよう編）：2025年2月中旬※予定】

①大容量データファイル転送デモンストレーション

【協力機関：岩田地崎建設株式会社】

仮想PCサーバー上にある3次元モデルや点群データ等の大容量ファイルを直接操作、クライアントマシンへの移動、またはクライアントマシンに保存されている大容量ファイルの移動、保存をするためにIOWN APN経由であれば短時間での転送を実現できるかの検証デモンストレーションを実施します。

② VMO活用 リモートプロダクション

【協力機関：株式会社テレビ北海道】

テレビ北海道が開発した、VMO（バーチャルマスターオペレーター※1）を活用し、IOWNによるリモートプロダクションのデモを行います。北海道大学の映像信号をIPでテレビ北海道本社のスタジオ設備に伝送。テレビ北海道本社のスタジオ設備をNTT東日本 大通4丁目ビルから、リモート制御します。従来の通信サービスでは実現できなかった、IP映像信号の複数同時伝送、低遅延伝送による、リモートプロダクションデモをご覧ください。IOWN APNの高速・大容量の特徴を活かし、映像伝送には非圧縮のSMPTE ST 2110※2を用いることで、より高精細かつリアルタイムでの映像編集が可能となります。

※1 VMOは放送監視、スタジオなど全ての放送設備をリモートでオペレーションできるシステムです。

※2 映像、音声、補助データを個別に伝送するという特徴を有する、SMPTE(Society of Motion Picture and Television Engineers)が定める放送番組素材伝送用の映像伝送規格です。